

目標達成計画

作成日: 5年7月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合の(終末期)の対応について理解はしているが、学習する機会が少ない。経験年数により対応に差が出やすい。	看取りに関する研修の場を設け、学習する機会を増やす。また、家族の思いをくみ取れるように努め、退居後もフォローできるような体制を作る。	内部研修を実施し学ぶ機会を作る。看取りとなった場合、本人だけでなく周りの家族の精神的なケアができるようにする。	6ヶ月
2	35	防災訓練は実施しているが、BCPのマニュアルがまだ完全ではない。有事に活用できるように整備する必要がある。	BCPマニュアルを完成させ、書面上だけで満足せず、実際に活用できるようにマニュアルの整備を行う。	ある程度はできているので、細かい部分を修正しながらBCPマニュアルを完成させる。	6ヶ月
3	49	コロナ禍で外出の頻度が減少したため、活動の幅が狭くなりストレスがたまり易くなってしまっている。	感染症の流行度合にもよるが、コロナが5類に移行されたため、状況に応じて外出の機械を設けるようにする。	屋上の散歩にとどまらず、屋外に外出する機会(外出のイベントなど)を設けるように努める。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。